

令和7年度日野市立教育センター

研修部教職員研修係
活動報告

令和8年2月9日

◎研修部の主な業務

- ・若手教員（1年次・2年次・3年次）の育成
- ・定例主任研修会・各種委員会の会場準備等の支援

◎若手教員育成専門員

- ・高橋 大造
- ・尾形 斉
- ・竹村 きよみ

◎令和7年度の若手教員の人数（5/1現在）

	小学校	中学校	合計
1年次	27名	17名	44名
2年次	23名	15名	38名
3年次	26名	10名	36名
合計	76名	42名	118名

☆若手教員育成研修について（概要）日野市教育委員会 実施の手引きより

1年次	校内	授業 120時間以上 授業以外60時間以上
	校外	センター等研修 半日(10回以上) 課題別研修 半日(6回以上)
2年次	校内	学習指導15時間以上 生活指導他15時間以上
	校外	センター等研修 半日(3回以上)
3年次	校内	学習指導10時間以上 生活指導他20時間以上
	校外	センター等研修 半日(2回以上)

☆校内における研修

- * 指導体制を確立し、研修シラバスに基づき、若手教員の育成指導を行う
- * OJTのガイドラインに基づいた人材育成を推進する

☆校外における研修（主に教育センター等で行われる研修）

- * 1年次教員の場合、年間12回の研修があり、教員としての基礎的・基本的な力量を身に付ける
- * 講師は研修会のテーマに応じた専門の方が担当する



第1回 1年次研修

* 研修内容（4月）

「教員（社会人）としての基礎基本」

「食物アレルギーの対応」

「情報セキュリティについて」

「教員（社会人）としての基礎基本」を受講中

☆校外における研修（主に教育センター等で行われる研修）Ⅱ



第2回 1年次研修

* 研修内容 (5月)

「教職員のメンタルヘルス」

「授業づくりの基礎基本」

「教職員のメンタルヘルス」より

©ストレスマネジメント 「あなたのストレス解消法は？」について、グループでの話し合い

◎教育センター研修部での指導内容

< 1年次教員 > 年間、**3回**の授業観察と指導を実施

< 2年次教員 > 年間、**1回**の授業観察と指導を実施

< 3年次教員 > 年間、**1回**の授業観察と指導を実施

* 授業観察の円滑な実施が図れるようにガイドラインを教育センターで作成

【1】ガイドラインを設定する趣旨

- (1) ガイドラインは、教育センターの若手教員育成専門員による授業観察が学校と共通の認識のもとに設定した視点に基づいて行なわれ、**若手教員の授業力向上に資するものになることを目的とする。**
- (2) ガイドラインを設定することで、授業観察の視点を明確にし、事前に学習指導案をもとに授業観察の準備ができるようにする。

【2】研修部員との事前連絡及び授業観察のやり方

- (1) 授業観察日の取り決め
研修部員と副校長とが連絡を取り、日時を設定する。 日時の変更についても副校長を通して行う。
- (2) 学習指導案の提出
学習指導案は、指導のための基本的資料である。提出にあたり、管理職や指導教員の指導を受け、**授業観察一週間前には提出する。** 必要に応じて資料等も送付する。必要に応じて学習指導案の書き替えを指導・助言する。 以下 省略

◎若手教員の授業観察の流れ

(1) 授業観察実施日時調整

担当所員が大まかな予定表を作り、
学校と相談しながら日時を決定する



(2) 授業者は副校長を経由して

学習指導案を担当者に送る

(一週間前までに)



(3) 授業観察 当日

- ・ 授業観察 (1 単位時間)
- ・ 懇談 (40 分程度)

◎授業観察の主な観点（1年次）

- ・ 学習指導案が適切に作成されている。
- ・ 児童生徒と良好なコミュニケーションが取れている。
- ・ **説明、発問**は児童生徒の理解度を把握しながら行い、分かりやすい。
- ・ **板書**は計画的で、学習の流れを示し、丁寧である。
ICT機器を適切に活用し、UDを考慮している。
- ・ 教材研究を継続して行っている。
- ・ 話し合いが適切に行われている。
- ・ 児童生徒に**変容**が見みられる。

など

◎授業観察後の懇談では



- ・まず、授業者に本時の自己評価をしてもらう。
- ・次に、観点ごとに授業を振り返る。
- ・そして、良かった点や課題を示し、改善策を話し合う。

◎授業観察の1回目（5月～6月）頃

* 説明時

- ・ 一生懸命であるが、声の調子がほぼ同じで、児童生徒の表情や気持ちの変化を捉えた説明とまではいっていない。

* 発問時

- ・ 児童生徒が答え終わるまで、児童生徒を見ていないことがある。
- ・ 児童生徒の答えやつぶやきを活かした授業展開を行うゆとりがまだもててない。



* 面談では

課題点だけでなく、良い点を見付け
それを伸ばしていく助言を行う。

(例として)

- ・ 板書にもっと工夫が必要
 - ・ 聞き取りやすく、分かりやすい話し方をしている
 - ・ ICT機器の操作がスムーズで、効果的な活用をしている
 - ・ 児童生徒の興味関心を高める教材を作っている
 - ・ 雰囲気をもっと温かくするムード作り
- などなど



* 課題を乗り越えて

授業観察後の懇談

授業力向上に向け課題点を指摘し、助言をする中で、よい点を伸ばしていけるよう話をするが・・・

本人が考えている課題は多岐にわたる。壁を前にして立ち止まる若手教員

◎ 授業観察の3回目（12月～1月）頃



- ・ 説明・発問・板書のスキルが向上している
- ・ 児童生徒の表情や発言から理解の度合いを把握し、授業を進めようとするゆとりが見られる
- ・ 児童生徒との接し方が自然で、先生としての存在感が出てくる

このように感じることが多い

◎ 2年次若手教員の育成

☆指導の主な観点として



- ・ 1年次の成果と課題を踏まえ、授業の流れにメリハリがありねらいを明確にした授業展開となっている。
- ・ 興味関心を高め、理解を深める教材の開発を行い
ICT機器の効果的な活用とUDの取り組みをしている。
- ・ 教科指導における生活指導の在り方を理解し授業規律やルールの徹底を行っている。

など

◎ 3年次若手教員の育成

☆指導の主な観点として

- ・ 主体的で、対話的で、深く考えさせる授業実践を目指し問題解決型授業への取り組みが見られる。
- ・ 児童生徒の疑問などに、即座に対応できる授業を目指し専門性を高めようとしている。
- ・ コミュニケーション能力を高め、表現力を育成する指導の工夫を行っている。
- ・ 外部との連携や学校の組織的な動きについて理解を深めている。など

◎ 3年間の成長

2年次研修 第1回目の様子



- ・ 2年次や3年次における授業観察で、1年次の時の姿とは全く違う別人のように成長した姿を見ることがよくある。
- ・ 大きな成長を感じる時、本人の日々の努力はもちろん、多くの先輩教員による地道で丁寧な指導があったことを強く感じる。

※これからも

- ・ 話術を磨き
- ・ 教材研究を続け
- ・ 児童生徒理解を深め、人権感覚を大切にしていこうように

と話している

☆積極的な姿勢と謙虚な気持ちを持ち、大きく成長することを願っている

◎若手教員育成研修 その一端を担い

- ・ 授業観察を通し、基礎基本の確立と同時にその先生の良い点を見付け、それを伸ばすための助言に努めている。次の授業観察では成長した部分を確認し、さらに伸びていけるよう支援をしている。
- ・ 担当所員の豊富な経験を活かし、若手教員の授業力向上を目指し、具体的で実践的な助言を行っている。
- ・ 課題や改善策などは所属校にも報告し、若手教員育成の一助となれるようこれからも努力を続けていく。

ご清聴、ありがとうございました
研修部